

芸術鑑賞教室（7/9）

7月9日（水）丸亀市民会館にて恒例の芸術鑑賞教室が行われました。今回は「和泉元彌の狂言らいぶ」と題し、和泉流二十世宗家和泉元彌さんをはじめ、姉であり日本初の女狂言師である和泉淳子さん、女性狂言師十世三宅藤九郎さんの3姉弟が舞台を披露して下さいました。演目は①狂言のお話②萩大名③棒縛り④ワークショップです。最初の狂言のお話ではクイズを盛り込むなど、高校生向けに工夫をこらした楽しいお話を聞かせていただきました。狂言の歴史は古く、演目中に使われている言葉は600年前そのままであることや、舞台を一周すると場面が変わるという決まりごとなど、鑑賞する上でのポイントも教えていただきました。実際に演目が始まると、昔の言葉は難しく感じましたが聞いているうちになんとなく理解できるようになり、こっけいな場面では笑い声もおこるようになりました。生徒たちの感想も、「難しかったけど面白かった!」というものを多く耳にしました。ワークショップでは5歳の女の子慶子ちゃんも登場し、狂言の稽古の仕方などのデモンストレーションを行ってくれました。それを参考に全員でセリフの練習を行いました。最後には和泉節子さんも登場し、会場は大いににぎわいました。女性であることを負い目にせず目標に向かってがんばり、狂言の世界で夢をかなえた十世三宅藤九郎さんのお話も、生徒たちに深い印象を与えたと思います。これを機会に泉さんのファンになった人も多かったのでは?日本の伝統芸能がより身近に感じられるようになった1日でした。